

特34

975

訂正
小學讀本

山脇巍校閱
近藤再編輯

卷之一

山脇巍校閱
近藤鼎編輯
卷一

訂正小學讀本

教育書房藏

特34
975
V2/5423

小學讀本卷之一凡例

一此書ハ尋常小學讀方科ノ用書ニ供シ簡易ナル漢字交

文章上ノ智識ヲ與ヘ兼テ思想ヲ養成スルヲ目的トス

一漢字ハ字畫少ク意義平易ナルモノヨリ始メ漸次高尚ナル形容詞熟

語等ニ及ボセリ就中初卷ニ於テハ之ヲ摘書シテ兒童ノ記憶ニ便ナ

ラシム

一書中載スル所ノ事項ハ修身地理歴史理科農工商等ニ關スルモノヲ

撰擇シ專ラ實際ニ效用アラシメンコトヲ務メタリ

一文體ハ雅俗ヲ問ハス務メテ其種類ヲ變化シ殊ニ最初ハ言語ニ近キ

モノヨリ入り漸ク進ミテハ間歌詞尺牘等ヲ交ヘリ

一每課ノ終リニハ既ニ學ビ得タル字句ヲ改構シ且其書體ヲ變シテ一

小學讀本 卷之一凡例

小倉言ノスニオニニノノ

文ヲ附ス是レ專ラ文字ノ活用ニ供シ兼テ書體ニ通セシメンガ為メナリ

一挿画ハ教師説話解釋ノ便ニ供シ供セテ兒童ノ觀察力ヲ練習シ興味心ヲ起サシムルヲ目的トスレバ本文ニ照シテ誘導開發シ易キヲ旨トセリ

一假名ハ第一第二兩卷ニ於テハ專ラ片假名平假名正體ヲ用ヒ第三卷以上ハ漸次平假名變體ヲ交ヘタリ

明治二十年三月

編者識

正訂小學讀本卷の一

山脇魏校閱
近藤鼎編輯

だい一
ひと

小學讀本卷一

いしをわる

人あり

この人はい

しをわり

てをる

いしをわる人はいしくなり



だいに

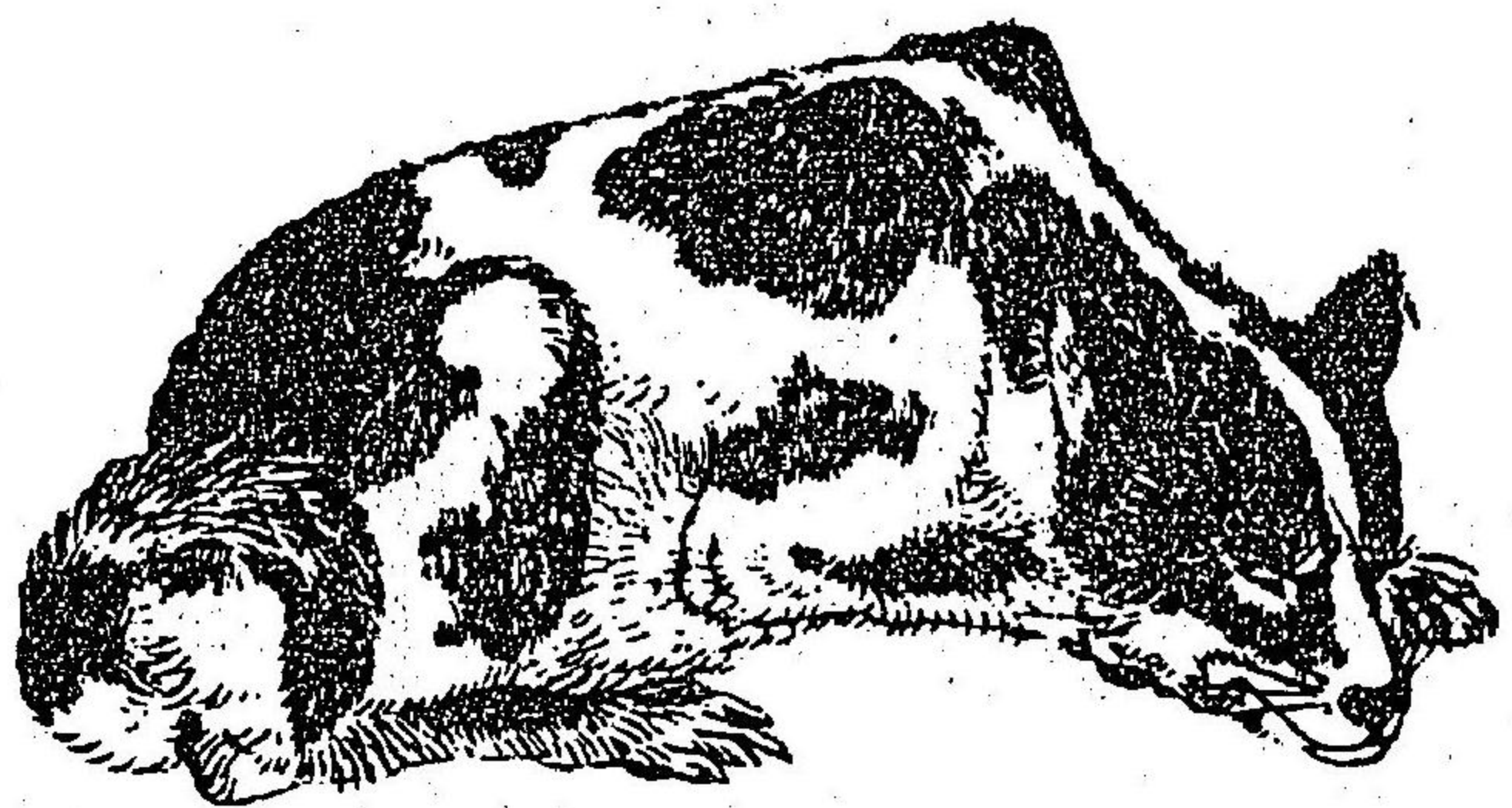
犬イヌ

この犬ハ子ム

リテヲル

コレハ子ムリ

タル犬ナリ



これは犬のねむりたるなり

だい三

水みづ

りのいけのな

かに水あり

水のうちにう



こゝに大なる木あり。

木の枝に三羽の雀とまり。木の下

に二羽の雀。急ばを

ひろひをれり。

三羽と。二羽は其か

す。なほなりや。

かろへてみよ。



三羽と。二羽は合して。五羽なり。
いまこの木の枝に四羽の雀とびきた
れば其がす合してなにほどもなるや

第四

椅子 教師 生徒 立ち
椅子ニ。コシカケタルハ。教師ニテ。
其前ニ。立ちタルハ。生徒ナリ。

木き土つち

木にていへをたて土



にてかべを
ぬる木をけ
づり土をね
る

木のいへ土のかげ

だい六

子コ本ホシ

イへノマヘニ

ヲトコノ子ア

リコノ子ハ



本ヲモチテヲル

本をもちたる子あり

だい七

上うへ下した

山の上にあ

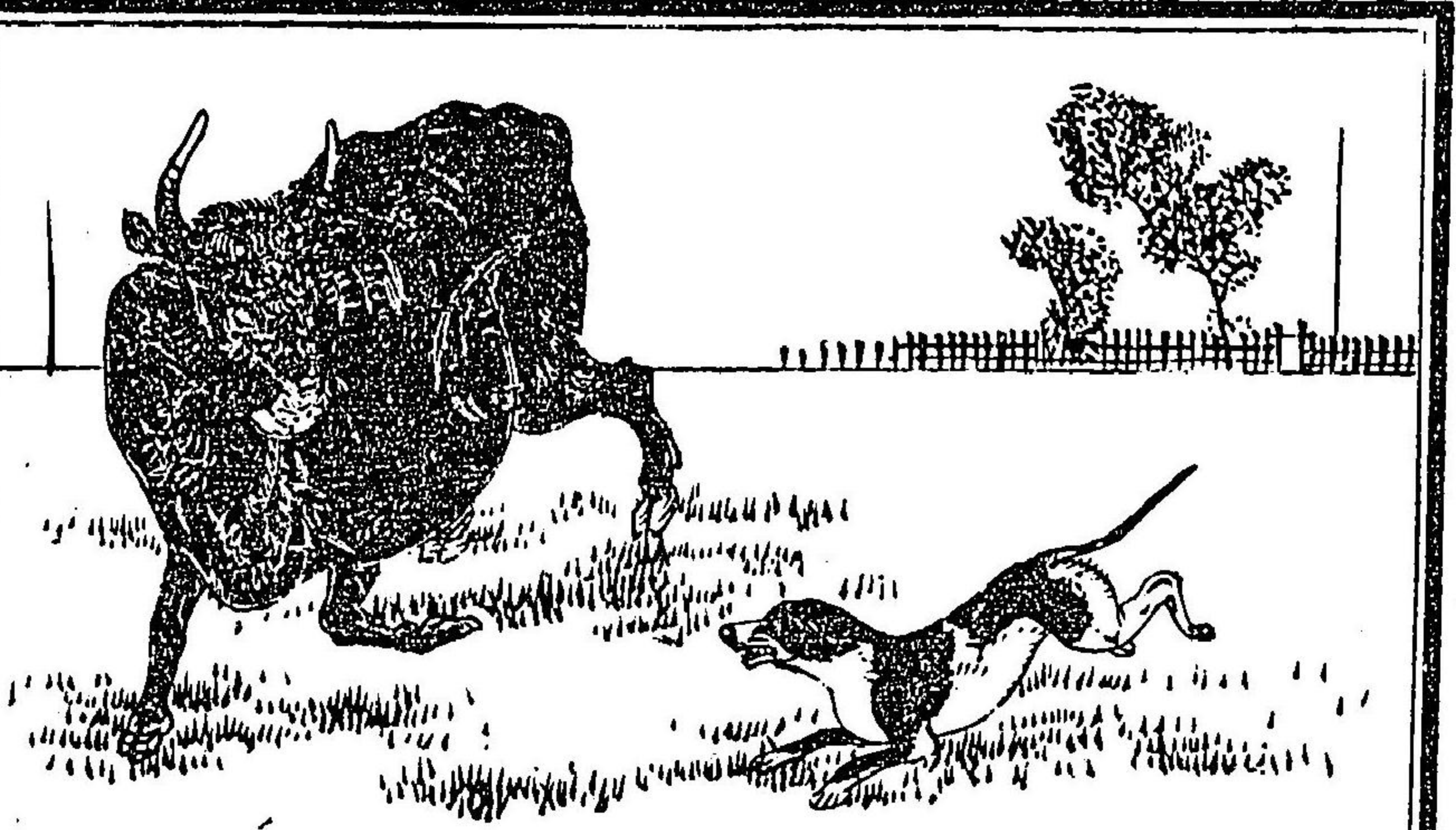
るはくもにて



山の下をながるは水なり
くもはたかく
水はふか

くもは上にたか
川は下にながる
だい七

大 オホキナ 小 チサキ 牛ウシ



大キナウシ小

サキイヌ

犬ハ牛ヨリ

チサク牛ハ

犬ヨリオホキ

シ

この牛は大きいくろの犬は小さい

だいハ

目め 口くち 耳み

目や口はかほにあり

耳はかほのみぎとひ

だりにあり

耳と目はろのかず二

つにて口はたゞ一つ

なり

人は二つの目二つの耳一つの口をもつ

だい九

父チ、母ハ、机ツクエ



母ハフトシノ
 ウヘニスワリ
 父ハ机ニヨリ
 テヲル
 母ハキモノヲ
 又ヒ父ハ本ヲヨム

父は机により母はすはりてをる

だい十

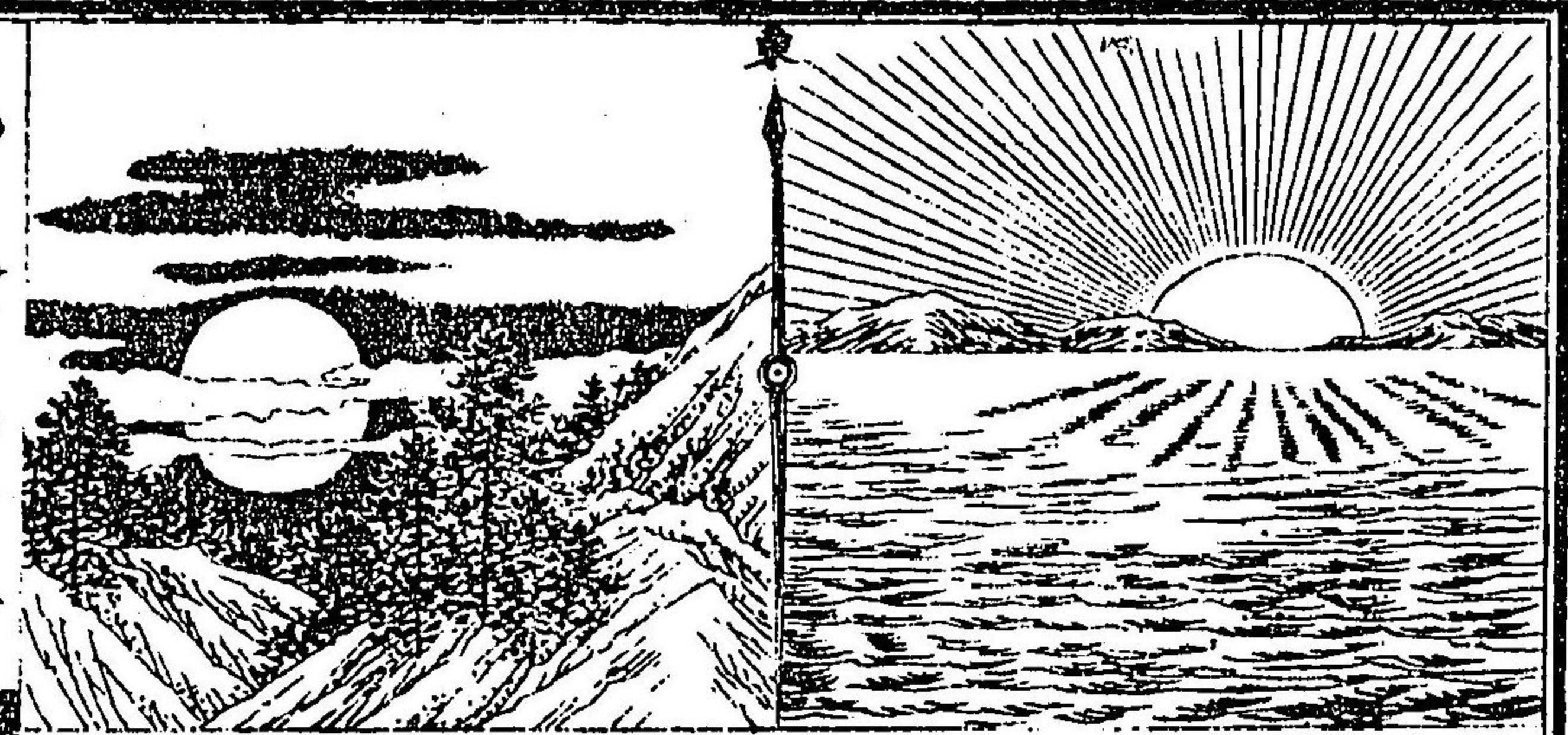
小刀こがたな水入みづいれ硯すゝり

机の上にあるはなにくなりや小刀と水入と硯なり

小刀にてかみをきり
水入には水を入れ硯
にてはすみをすする
あの机の上には硯小刀水入あり

だい十一

日と月ツキ出イツル入イル



日と月とヒガ
シヨリ出デ、
ニシニ入ル
日ノテラスア
ヒダヲヒルト
イヒ日ノカク

レテノチヲヨルトイ
フ

月は入り日はかでたり

だい十二

東ひが西に南みな北きた

あさ日のかたを東と

いひゆふ日のかたを
西といふ

いまみぎのてにて東
をさしひだりのてに
て西をさせばかほは
北にむきせなは南に

むく

北と南をさし東にむき西にむけ

だい十三

左ヒダリ右ミギ手テ足アシ

手ニツツエヲモチ足ニ

クツツヲハク

ツエヲモチタ

ルハ右ノ手

ナリ

左ノ手ニハ

本ヲモチテ

ヲル



左の手に本をもち右の手にてりをおむ

だい十四

二匹にひき五人ごにん車くるま舟ふね

二匹の牛車をひき

五人の子ども舟にの

る



舟は水のうへ
をはり車は
みちをころぶ
この子どもは
五人なりりの
牛は二匹なり

半二匹にて車をひき子ども五人にて舟をやる

だい十五

三本サンボン六枚ロクマイ杖ツヅ板イタ

コ、ニ杖ト板アリ

ソレハ三本ノ杖ト六

枚ノ板ナリ

板ハ木ヲケ

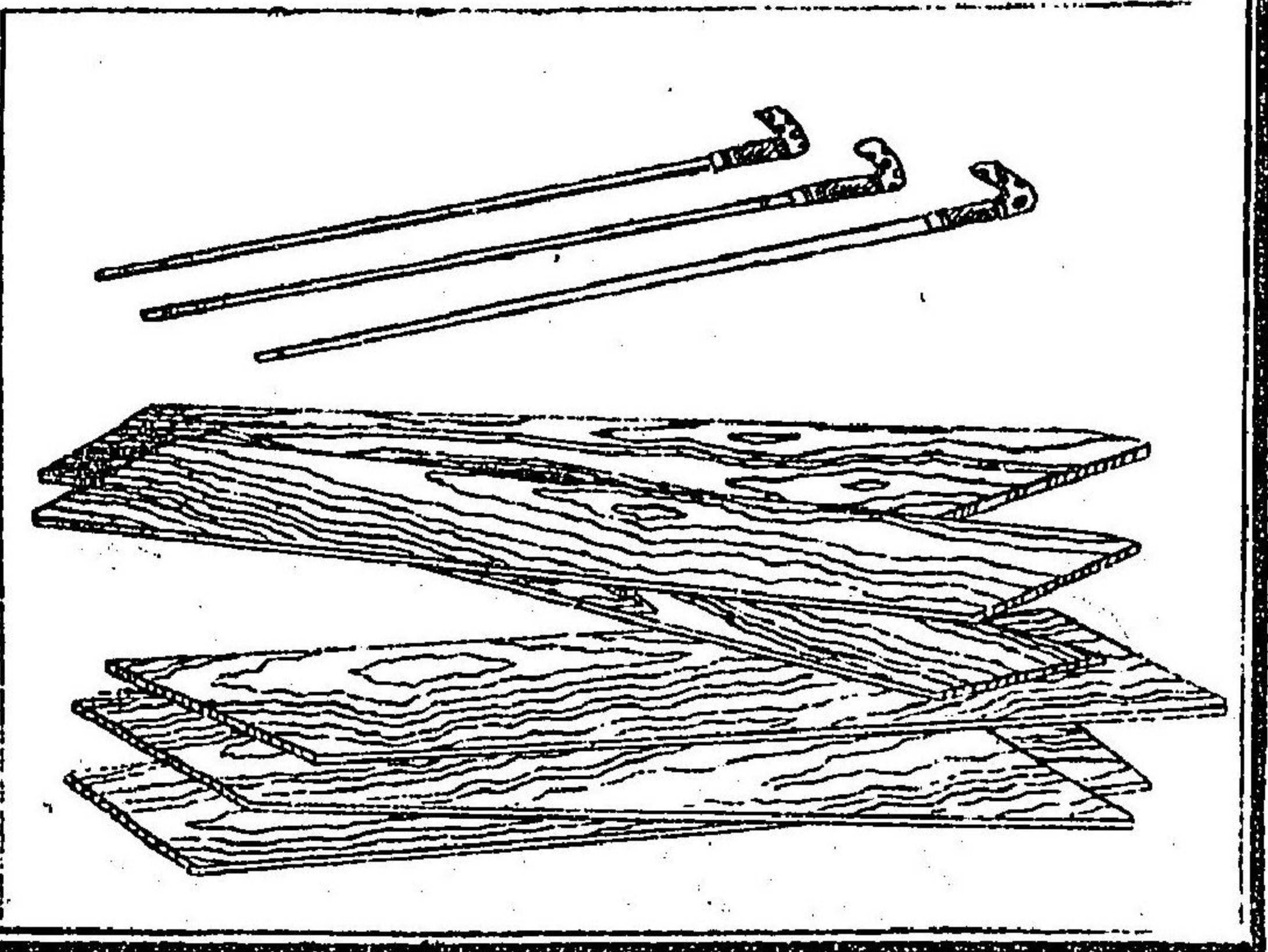
ヅリテツクリ

杖ハ木マタ

ハ夕ケニテ

ツクル

板七枚と杖八本あり



だい十六

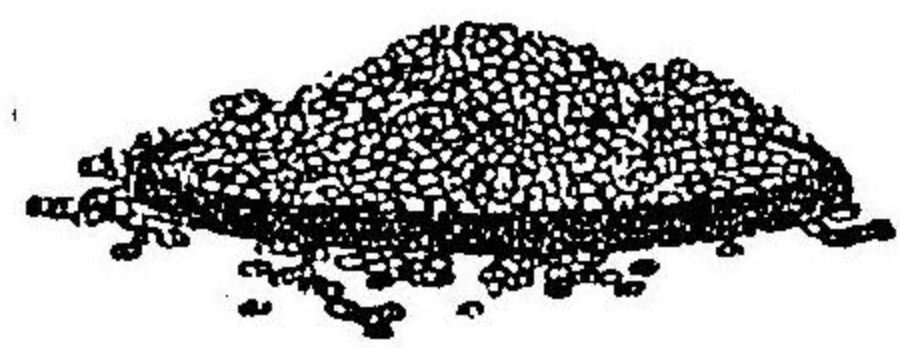
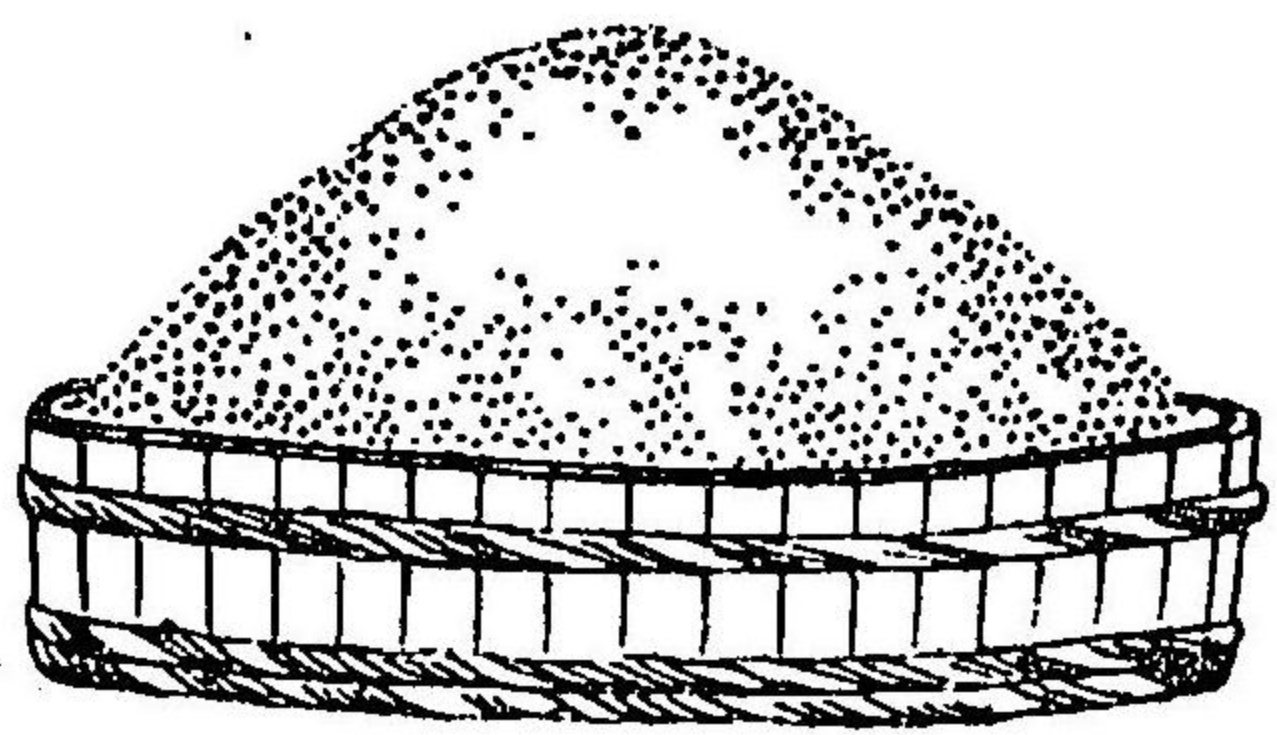
米こめ豆まめ二升にしょう三斗さんとう

米と豆あり

豆は二升に

て米は三斗

あり



絹綿 繭製

汝ノキタル著物ハ木綿ナリ。余ノツケタル羽織ハ絹ナリ。

木綿ハ綿ニテ。ツクリ絹ハ繭ニテ製ス。

木綿ハツヨクシテヤブルコト。少シユエニヘイゼイキルニヨシ。

絹ハ。ウスクシテ。ウツクシク。故ニ。
身ヲカザルニ。モチウ。

本綿の着物はつよく絹の羽織はうつくし
汝は綿を知れりや余は繭を見たり

第十五

兔 前脚 後脚 山野 實
葉 皮 毛

リ 多ク 桃 ハ 梨 ヨリ
少シ

梨は多くて九つあり桃は少くて三つなり

だい十八

前まへ後うしろ中なか池いけ
池の中に舟をうかべ

たり
舟の中に三
人の子ども
のりたり「前の
子どもはつ
りざをにてう



ををつり後にある子
どもはみぎをもちて
舟をやれり

舟の前と後には二の子どものりて池の中にあり

だい十九

彼ノカノ此ノコヲ其ツノ所トヨロ

トホキトコロ

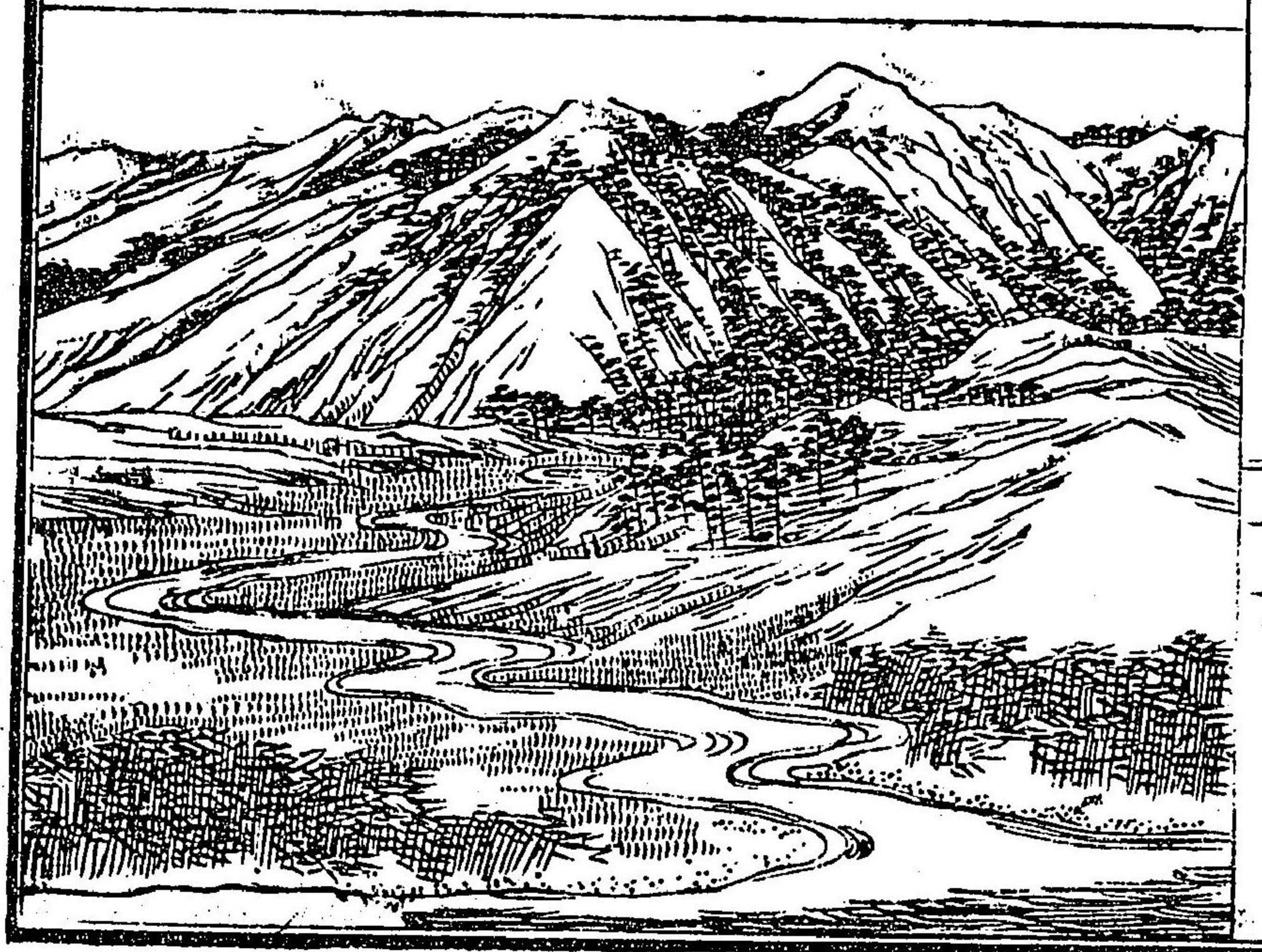
ニ山アリ

チカキ所ニ

川アリ

彼ノ山ハタ

カク此ノ川



ハナガシ此ノ川ノ水

ハ彼ノ山ヨリ出デキ

タリ其スエハウミニ

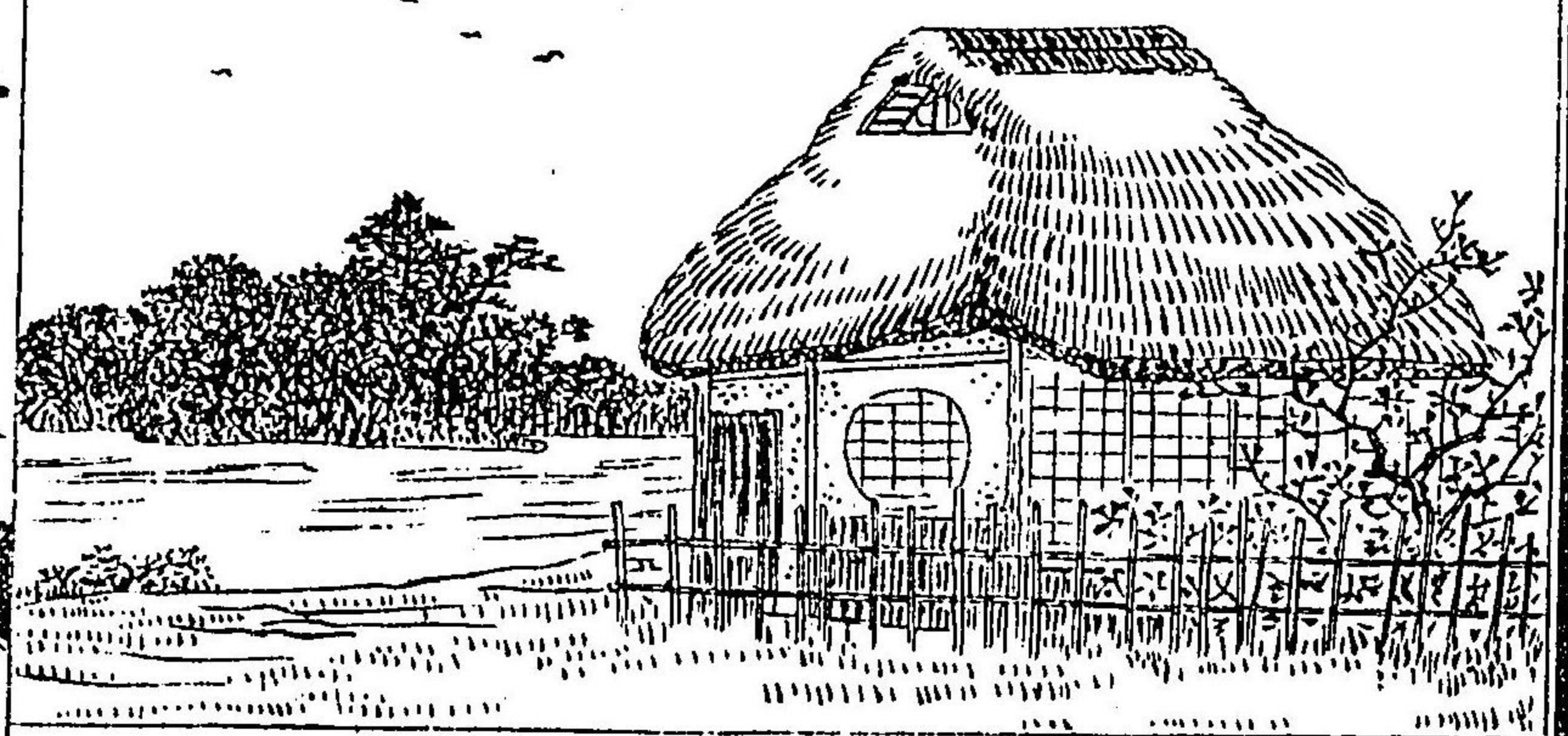
ナガレ入ル

此の川はちかく彼の山はとほし其所の
のさまをみてゝるなり

だい二十

遠とほまき とほま 近ちかまき ちかま 高たかまき たかま 低ひまき ひま

彼の木は遠く此のい
へは近一
木はいへより高きい
へは木より低一



いへは低けれ
ども近きゆゑ
高くみえ木は
高けれども遠き
ゆゑ低くみゆ
るなり

高き木は遠きところにある低き
へは近き所にあり

だい二十一

家イハ大エダイク左官サクワン

コハハ家ヨタツル所

ナリ上ニヲルハダイ

クニテ下ニヲルハサ

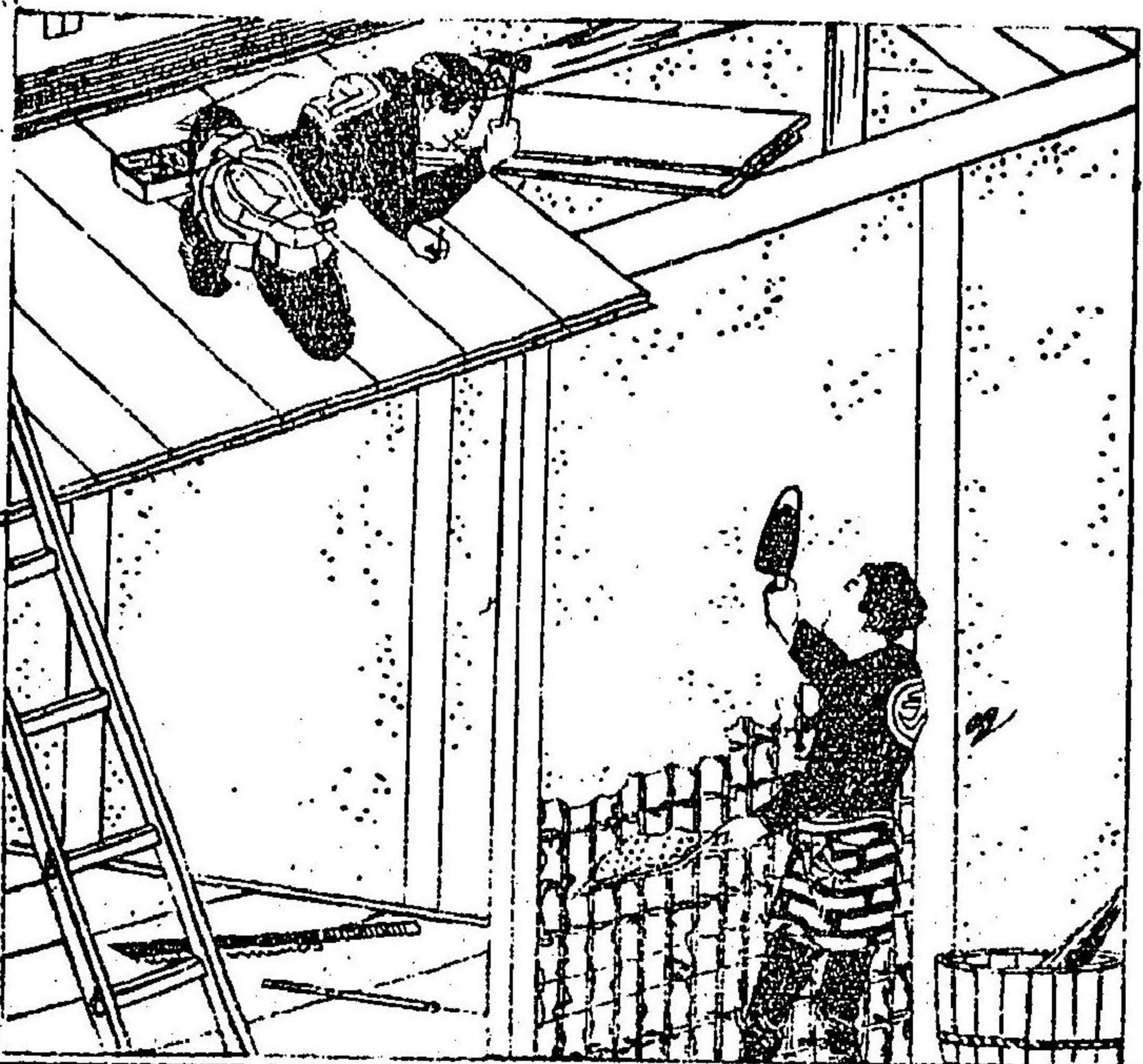
クワシナリ

大エハ家

ヲタテ又

ヤ子ヲフキ

左官ハカベ



ヲ又ル

家をたつるは大工にてかべをぬる
は左官なり

だい二十二

錐きり鋸のこ大切たいせつ

りこにある だうぐは

なにくなりやのこと
きりなりりはなにを
なすにつかふや

錐はあなをあけるに
つかひ 鋸は木をきるに
つかふすべてだうぐは

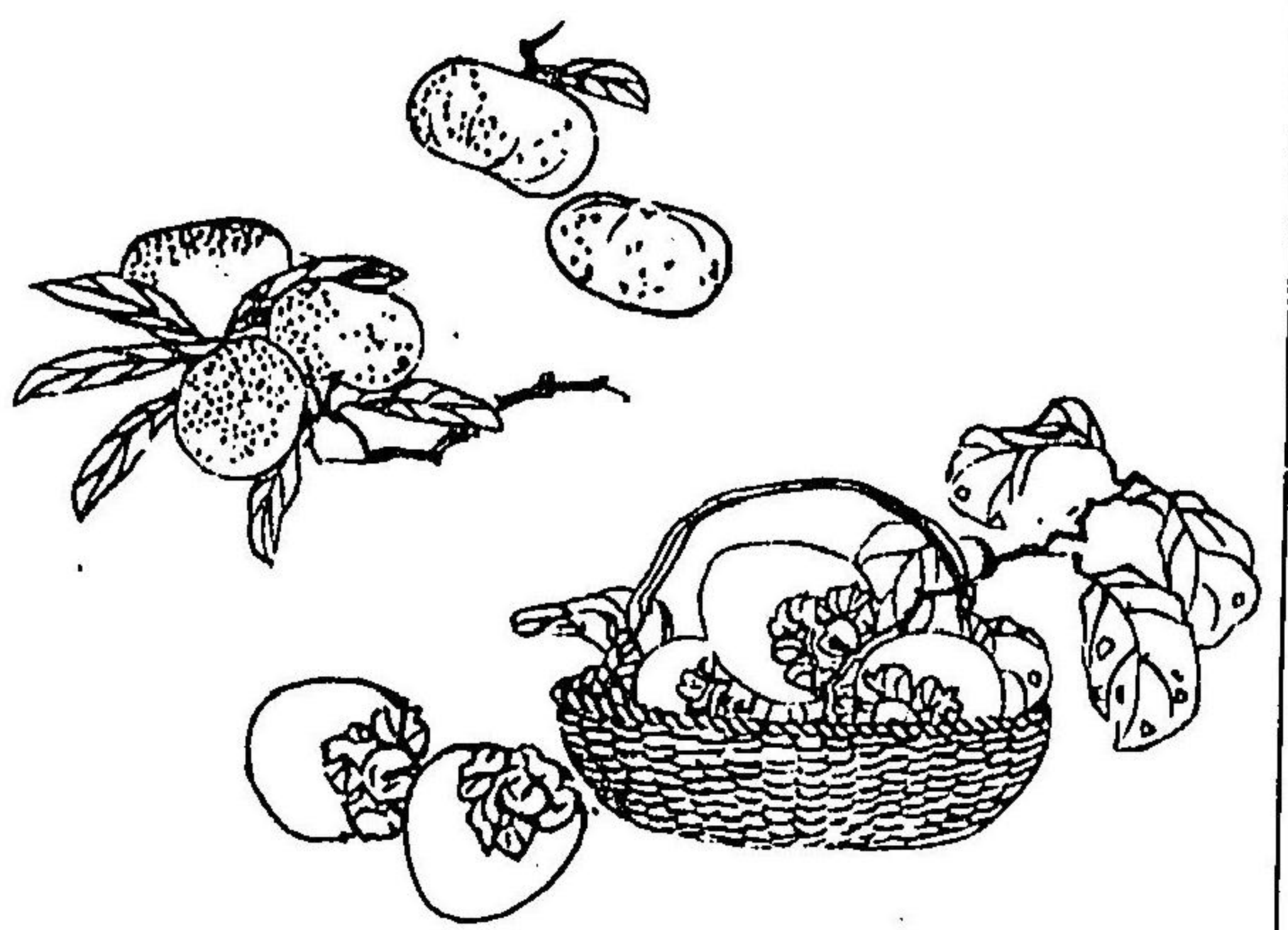
大切につかふべし

鋸にて木をきり錐にてあなをあ
くるみな大切なだうぐなり

だい二十三

柿カキ 蜜柑ミカン 食クラフ

ワコニアルハ ナニモノ



ナリヤ 柿ト 蜜柑 ナリ

柿ト 蜜柑ハ

イヅレカ 其ア

ヂヨキヤ

柿ハ ウマケレ

ドモ 多クハ

シブク 蜜柑ハ アマケレ
 ドモ 少シ スシ イヅレ
 モ 多ク 食フベカラズ
 一ぶき 柿とすゆき 蜜柑は いづれも
 多く 食ふべからず
 だい 二十四



今日 こんにち 風 かぜ 雨 あめ
 今日 は ちかちか 曇り たり

風 も 少し ふ
 きき たり
 ほど なく 雨の
 ふる ならん

三十一
 三十一

遠き所にゆくにはかき
 をもつべーもーとち
 うにて雨にあふときは
 なんぎなるべー」
 今日けふは雨もふり風もふきつてをるかきを
 もちてゆけばぬれることなー

だい二十五

二郎どらう 三郎さんらう お玉ねたま 小竹こたけ

二郎のいかはたかく
 あがり三郎のこまは
 よくまはる」
 お玉はてまりをつき

小竹ははね
をつきて
ありふ
三郎のいふ
には二郎
さんあまり



ハ。今。社前ニ來リテ。禮拜ヲナセリ。
此ノ人々ハ楠公ノ功ヲ賞シ。國ノ
安全ヲ祈ルナリ。

楠公はむかひ忠義をつくり功をたてし人なり
故に後の人々は社をまつて之を祭るなり

小學讀本卷の二

版權免許 明治二十年四月廿六日

訂正再版御届 明治廿年九月廿日

編輯人

岡山縣上族

近藤 鼎

備前國岡山區弓之町五十七番地

出版人

岡山縣平民

武内彌三郎

大阪府平民

前川善兵衛

備前國岡山區西寺町百十六番地
大阪府東區南久寶寺町四丁目八番地

算用數字

0 1 2 3 4

零 一 二 三 四

5 6 7 8 9

五 六 七 八 九

10 11 12

十 十一 十二

版權免許

明治二十年三月三十一日

訂正再版御届

明治廿年九月廿日

訂正三版

同 明治廿二年二月十五日印刷
年三月十八日出版

著作者

近藤 鼎
岡山縣岡山區弓之町七番屋敷

發行
印刷者

前川善兵衛
大阪府東區南久寶寺町甲丁目十九番屋敷

同

武内彌三郎
岡山縣岡山區西大寺町三番屋敷

發

西山新西大寺町

西尾吉太郎

同 榮町

新庄久太郎

同 下之町

岡田疇吉

賣

同

朽木久太郎

同

富木正榮

同 中之町

森禎藏

人

同 東中下

大島勝海



特34

975

訂正小學讀本

山脇魏校閱
近藤再編輯

卷之一

081649-000-7

特34-975

小學讀本(訂正)卷1

近藤 鼎/編

M22

DAC-6455

